



秋の国見町応援団ツアーが11月21日から22日にかけて行われました。夏の応援団ツアーに続き、秋の国見町の魅力も多くのの方に知ってもらおうと企画し、応援団長には、スイーツを愛し、テレビや雑誌などで活躍しているスイーツ王子Ru.i.さんを迎え国見町の「秋のおいしい」を満喫してもらいました。

ツアー参加者は、国見町役場で歓迎・結団式後、3グループに分かれ、りんご狩りを体験しました。青年農業者からりんごの取り方やおいしいりんごの見分け



三ツ木貴重 さん

神奈川県

国見町の印象は自然が豊かだと思いました。野菜やりんごもおいしかったです。まだまだ震災のイメージがあり大変だと思いますが、復興しているところをアピールして頑張ってください。



島津仁美 さん

東京都

国見町は農産物がおいしいです。普通なら肉や魚がおかずのメインですが、野菜がメインになっても良いと思いました。

農産物の風評被害については、放射線検査を行い安全性確保に取り組んでいる点で、福島のは日本一安全と思っています。福島産のものを買って応援したいです。

方を教えてもらいながら、りんごを収穫しました。夜は、観月台文化センターで農商工のお母さんたちとの交流会です。国見町の食材を使った手づくり料理をはじめ、応援団長オリジナルスイーツも用意され、人気を集めていました。

2日目は、あんぼ柿の放射能検査の様子を見学した後、あんぼ柿の加工体験です。7件の農家で柿の皮むきやひも通し作業を通して、生産者との交流を深めました。昼食は、小坂地蔵庵が心を込めて打ったそばを堪能し、お別れ会でツアーが終了しました。



国見ルネサンス 2015

ふるさと産業祭

国見町の歴史と未来 人・もの・交流

国見町の伝統・文化、農業、商業、工業が一堂に集結する、ふるさと産業祭が11月7日、8日の2日間、上野台運動公園グリーンアリーナ923で開催され、多くの人で賑わいました。今年の産業祭は、国見町合併60周年にあたり「ふるさと祭・国見ルネサンス」と合わせて行われ、昨年より盛大に行われました。

「ふるさとくにみ」を想うステージイベントでは、内谷太々神楽や錦町太鼓保存会による伝統芸能の披露、町文化団体連絡協議会加盟団体などによる踊りや楽器演奏などが行われ会場を盛り上げていました。

会場内の各ブースでは、国見町自慢の農産物の展示即売、町内企業による技術展示、商店街の製品の販売のほか、国見パーガーやそば、カレーなどの販売も行われ、人気を集めていました。中でも一番人気は、国

見石の「かまど」で、貝田地区のお母さんたちが国見産「天のつぶ」を炊いて振る舞った「国見石のかまどdeごはん」のコーナー。炊きたてで、どこか懐かしいごはんの香りに多くの人が集まり、あつという間に無くなってしまいました。かまどごはんを懐かしみながら食べた人からも、初めて食べた人からも好評でした。また、国見町と交流のある北海道ニセコ町、岐阜県池田町からは職員が来町し、それぞれの特産品であるじゃがいもや美濃いび茶などの販売も行われ、来場者は各地自慢の味を楽しみました。

クロージングセレモニーでは、国見ソフトボールスポーツ少年団の佐藤大雅くん、青年農業者の渋谷憲道さん、阿津賀志学級の太田栄子さんが町への思いを発表し、さらなる復興を参加者で確認しました。